

諏訪地方の経済概況速報

平成26年6月

(平成26年5月末調査)

平成26年6月25日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 4月】	諏訪公共職業安定所管内	1.00 倍	0.32 ポイント	
手形交換高【 5月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	4,861 枚	△1,782 枚	
	金 額	5,754 百万円	△3,340 百万円	
	うち不渡り	枚 数	5 枚	△5 枚
	発生状況	金 額	792 千円	△12,908 千円
電力使用量【 5月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	49,804 MWh	93.7 %	
	高圧電力計	87,368 MWh	1.9 %	
	合 計	137,172 MWh	23.1 %	
車庫証明取扱件数【 5月】(諏訪地方合計)		777 件	△18.0 %	
新設住宅着工戸数【H26.4月】(諏訪管内)		100 戸	7.5 %	

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

諏訪地方の 5 月は、3 月に幅広い分野であった消費増税前の駆け込み需要の反動が懸念された。製造業は取引先の状況によって業況に差が出る傾向が強く、円安などによるコスト高が不安要素となっているが、極端な受注減少には至っていない企業が多い。今後の受注動向見込みによって、機械や工場設備の更新を検討する企業もある。最も反動が警戒されていた商業は、落ち込みはあるものの、自動車販売をはじめ「想定内」とする企業が多く、早めに復調基調となる見込みの小売店もある。建設業は企業によって業況に差があり、観光業は天候やガソリン高騰などの影響があった。タイで起きたクーデターは、現地に進出している諏訪地方の企業の子会社が、夜間操業を自粛するなど、やや影響があったが、大きな混乱はなかった。雇用情勢は、なかなか 1 倍に達しなかった諏訪地方の有効求人倍率が、ようやく大台に乗り、景気回復の機運が出てきている。

●製造業 「消費増税の影響は限定的」

自動車部品などの輸送用機械関連は、4 月以降の受注が安定せず波があるとする企業の一方で、年内は好調を維持できると予想する企業もあり、企業によって業況が異なるが、総体的には堅調な動きを維持している。厳しいコストダウン要請は続いている。金属部品加工は、極端な落ち込みにはなっていないものの、取引先企業が海外との激しい価格競争をしていることで、先行きは数量、コストとも楽観できないという声もある。工作機械や専用機などの一般機械は、ロボット関連と半導体関連が好調で、残業や休日出動態勢で対応している企業がある。前年同時期より見積もり件数が増加している企業もある。電気機械は安定した受注が続く企業の一方で、増加基調だった生産が収束する動きもある。精密機械は、取引先によって受注状況に大きな格差が出ている中で、比較的車載用カメラ関連は堅調に推移し、圧力計の受注も好調に推移している。

●商業 「早めの復調基調の気配」

生鮮食料品は消費増税の影響が少なく、駆け込み購入が顕著だった「保存が効く商品」も例年並みの売れ行きに戻りつつある。4月から増税分の値上げをしたが、顧客への影響は少ないとする飲食店もあった。ただ、一部に大型店の閉店、出店の動きがあり、顧客動向が注視されている。自動車販売は、諏訪地方の5月の車庫証明件数は777件で、前年同月比170件、18.0%の減少だった。新車販売は消費増税の影響で減少しているものの、「想定していたよりは下がっていない」という見方が多い。

●観光・サービス業 「GWは曜日の配列や天候などが影響」

今年のGW中は曜日の並びが悪く、期間後半が天候不順となった。上諏訪温泉・諏訪湖が、好天だった期間前半に集客を伸ばしたが、霧ヶ峰や車山、八島などの高地は天候不順が響いて前年より落ち込んだ。上諏訪温泉は、雪の観光に訪れる立山黒部アルペンルートのタイや台湾の観光客を取り込んだ施設が、前年同月比で増加した。富士見方面は観光施設、ゴルフ場などが好調だった。平成25年の諏訪地方の観光地の利用者数は、前年比0.4%増の13百万人で白樺湖、蓼科方面が増加し、諏訪湖、霧ヶ峰方面がやや減少した。

●建設業 「企業間で業況に格差」

市町村の5月の発注工事は、合計82件600百万円となった。前年同月に比べ、件数は25件、契約金額は152百万円増加した。一方、県関係の5月の公共工事(地元業者受注分)は4件、113百万円だった。平成26年4月～5月の累計は5件157百万円で、補正予算効果があった前年同期の累計比では件数が29件、契約金額は1,156百万円(88.0%)減少した。

民間工事は、諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数が100戸で、前年同月比7戸の増加(7.5%)で、持ち家が減少し、貸家が増加した。駆け込み需要の反動で受注が一服している企業の一方で、「建築工事の相談が減った感じはしない」という感触を持つ企業も多い。

●雇用 「有効求人倍率1倍台へ回復」

諏訪地域の4月の有効求人倍率は、前年同月を0.32ポイント上回り、前月より0.02ポイント上回る1.00倍となった。前年同月を11ヶ月連続で上回り、リーマン・ショック後5年6ヶ月ぶりに1倍台に回復した。全国と長野県平均は1.08倍で同水準となっている。新規求人(全数)は1,743人で前年同月比389人増加(28.7%)した。月間有効求人数は6年ぶりに4,000人台となった。要因別では「継続する人員不足」と「業務量増大」が増加し、「欠員補充」と「創業・新分野展開」が減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、建設業で93.9%、運輸業で67.3%など、ほとんどの業種で増加した。新規求職者数は1,188人で、前年同月比206人減少(14.8%)した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は143人で、前年同月比55人減少したが、前月比では84人増加した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	海外シフトが止まらず市場が縮小する中で、セラミックス関係の高付加価値品は好調な推移となっている。
プリンター コンタクター・ リレー	取引先によって格差があり、これまでの増加基調が収束する動きもある。 前月より減少したものの、全般的に受注動向は安定的に推移し、フル稼働の企業もある。

2. 輸送用機械

自動車	取り扱い部品によって業況に濃淡があり、一部反動減もあるが、総体的には堅調に推移している。東南アジア方面へ進出している企業は、タイのクーデターなどで今後のカントリーリスクを懸念したり、世界情勢の不安定要素から、先行きは楽観できないとする企業もある。厳しいコストダウン要請は続いている。
船外機	北米向け4ストロークエンジンは安定し、欧州向けは低調。新興国向け2サイクルエンジンは横ばいで、総体的には良好な受注環境が続いている。
その他	航空機部品は比較的堅調。重機関連の部品加工の受注も増加している。

3. 一般機械

工作機械・専用機	大手企業の設備投資の動きで、当面堅調に推移する見込みを持つ企業の一方で、受注の動きが鈍く、先の見通しが立てにくいとする企業がある。新機種製造に伴うロボット関連や半導体関連の受注は増加している。
搬送用機械	消費増税の影響で受注は低下しているが、受注残もある。堅調には推移する見込み。
金型	総体的に横ばいで推移している。
ダイカスト	受注は取り扱い部品ごとに区々で、総体的には横ばいとなっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの4月の生産台数は約383万台。前月比21.1%増加、前年同月比では32.0%の減少となった。4月の出荷台数は国内出荷約41万台、海外出荷約347万台の合計約388万台となり、前月比16.0%増加、前年同月比は34.6%減少となっている。
レンズ	レンズ加工の生産は海外が主体で国内は減少しているが、工程が多かったり、高難度の受注は多い。業界淘汰によって受注が増加する企業もあり、納期遅れが出た企業もある。

5. 繊維

ニット

高級品を中心に受注は増えているが、原材料、燃料の値上がりで価格転嫁が難しい状況もある。

6. 食品

寒天

駆け込み需要の反動などで首都圏のスーパーがやや低迷し、総体的には前年同期比で減少した。

味噌

新商品投下の効果があった企業もあるが、業界全体では低減傾向で、円安による仕入れ価格高の課題も続いている。

7. 製材

諏訪地方の4月の木造新設住宅着工戸数は94戸で、前年同月比8戸増加した。外材の高値が続いている。

8. 建設

公共工事

5月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所1件、林道治山工事関係2件、長野国道事務所等国関係1件の合計4件で、契約金額は113百万円だった。平成26年4月～5月の累計は5件、157百万円となり、前年同期累計比では件数、契約金額とも大幅減少している。ただ、前年はアベノミクス効果などで活況だったが、例年は年度替りの端境期で低調期であり、一昨年とほぼ同様な状況となっている。6月ごろから大口工事の発注が出るのが期待されている。

市町村の5月の発注工事は、建築工事7件90百万円、土木工事及び下水道工事50件452百万円、その他工事25件59百万円の合計82件600百万円となった。3月に大量受注し代人不足となり、現場の工事量も充足しているため、入札を見合わせて受注が減少した企業もある。消費税の影響は企業によって「大幅な落ち込み」と「影響は少ない」と区々になっている。

民間工事

諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は100戸で、前年同月比で7戸の増加(7.5%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は13戸減の61戸、「貸家」は23戸増加の33戸、「分譲」は3戸減少の4戸となった。駆け込み需要は一服感があるが、自社物件の別荘用地が全て本契約になるなど、不動産に関する問合せは多く、リフォーム関係も好調に推移している企業が多い。

長野県内の4月の新設住宅着工戸数は998戸で、前年同月比1.8%増加した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が542戸で21.2%減少、「貸家」は372戸で73.8%増加、「給与」が4戸で同数、「分譲」は80戸で8.1%増加となった。

9. 商業

衣料	一部で好調な企業もあるが、総体的には前年同月より減少傾向となっている。天候が左右する面もあり、今後の見通しは不透明。
食料品	生鮮品は増税の影響はほとんどなく、多くの食料品も例年並みに回復する傾向が見られる。
家電製品	パソコンの買い替え需要は一段落し、デジカメも依然鈍いままで推移。洗濯機や冷蔵庫なども総体的に低調となっている。
自動車	県内の5月の新車新規登録台数は、登録車が2ヶ月連続で減少し、軽自動車も11ヶ月ぶりに減少した。全体では前年同月比325台減少(4.0%)の7,846台で、2ヶ月連続の減少となった。
ホームセンター	中旬ごろから回復傾向となり、野菜苗や植木などの園芸用品、母の日の花などの売れ行きが良かった。GW中はレジャー用品も動いた。

10. 観光

上諏訪温泉	宿泊者数は施設によって格差があり、前年同月比では90%台～120%台となった。ガソリン高騰、消費増税、平日のETC割引中止の影響がある。
蓼科・白樺湖・車山等	GWは後半の天候不順で苦戦した施設が多い。修学旅行の宿泊はあるが、一般客の動きが低調な傾向となっている。
下諏訪温泉	GW中は入り込みが多かったが、それ以外は低調だった。レガッタの大会が下諏訪で行なわれ、やや回復傾向となった。
諏訪大社	上社・下社合わせた5月の参拝者数は約5万5千人で、前年同月比では約7.8千人の減少(12.6%)となった。

● 企業からのコメント

- ・ タイのクーデターを見ると、海外では予想しないことが起きる。東南アジアへの進出が今後の柱と考えるが、将来のリスクが心配。(専用機械製造業)。
- ・ 大手企業の決算は良いが、国内回帰がなく、恩恵が少ない(電気機械製造業)。
- ・ 業界全体の仕事量は伸び悩むが、同業他社の廃業や技術を保有する企業が少なく、受注が集まりつつある(精密機械加工業)。
- ・ GWは例年以上の売上で、増税の影響はほとんどなく、4、5月は好調だった。顧客は良質な商品への志向が強くなっている(飲食店)。
- ・ 良い物は多少高くても売れる状況で、客単価が上がっている(小売店)。
- ・ 増税需要の反動で一段落し数字は良くないが、今後は大口の公共工事や計画段階の建設案件があり、かなり忙しくなる見込み(建設業)。
- ・ 修学旅行の受け入れ時期だが、行動がクラス単位からグループ単位となる学校が増え、以前より来場を見込めない(観光施設)。